

10年後の自分と高校選択

中学3年生の10年後は25歳です。「10年後の姿なんてわからない」というのが本当のところでしょう。しかし、10年後の自身の姿を実現するためにはその3年前、つまり今から7年後にどんな姿でなければならぬかが決定します。さらに3年前、そのまた3年前の姿も同様にさかのぼって決まります。結局、中学卒業後どの高校を選択するか、あるいはどの学科を選ぶかが10年後の姿に近づく一歩になるのです。

もちろん、高校選択だけが人生を決めてしまうとは考えません。考え方を180度転換する人との出会いがあるかも知れません。価値観を大きく変える体験もあるかも知れません。しかし、いずれにしても現在の努力なしで10年後のビジョンは持てないはずで

たとえば、市職員の募集要項を見てもみると、行政職では高校卒業が最低条件です。その他の技能職は「資格免許を持っている」ことが条件になっています。では資格を取るためには何をしなければならないか……。と考えると高校選択は中途半端ではいけないことに気づくと思います。大学卒を条件にしている職業を目指す人は当然、大学進学を視野に入れた高校選択をしなければなりません。

ただ、これらのことを一人で考えるのは大変危険です。つまり、中学生の段階で自分の将来を一人で決定してしまうことは逆に自分の可能性を狭めてしまうおそれもあるからです。そのために、家族とよく話し合ってください。意見の違いがどうしても埋められない時は担任の先生に遠慮なく相談してください。ただし、自分自身の将来です。最後に決定するのは自分自身であることを忘れてはいけません。

一人ひとりが未来に希望を持った進路選択ができるように先生方は一生懸命応援します。